



平成30年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成29年11月9日

上場会社名 エンシュウ株式会社

上場取引所 東

コード番号 6218 URL <http://www.enshu.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 社長執行役員 (氏名) 山下 晴央

問合せ先責任者 (役職名) 管理本部 企画財務部長 (氏名) 大野 裕哉

TEL 053-447-2111

四半期報告書提出予定日 平成29年11月10日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第2四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第2四半期	11,110	7.0	444		315		280	
29年3月期第2四半期	10,386	14.6	170		304		340	

(注) 包括利益 30年3月期第2四半期 181百万円 (%) 29年3月期第2四半期 760百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第2四半期	4.45	
29年3月期第2四半期	5.40	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年3月期第2四半期	30,182	6,478	21.5	102.71
29年3月期	29,967	6,297	21.0	99.83

(参考) 自己資本 30年3月期第2四半期 6,478百万円 29年3月期 6,297百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期		0.00		0.00	0.00
30年3月期		0.00			
30年3月期(予想)				0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	23,000	10.3	670		340		300		4.76

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - 以外の会計方針の変更 : 無
 - 会計上の見積りの変更 : 無
 - 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年3月期2Q	63,534,546 株	29年3月期	63,534,546 株
期末自己株式数	30年3月期2Q	456,527 株	29年3月期	454,097 株
期中平均株式数(四半期累計)	30年3月期2Q	63,078,721 株	29年3月期2Q	63,084,779 株

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、政府の経済政策を背景に企業収益や設備投資に改善がみられ緩やかな回復基調がつづいているものの、米国の外交政策やアジア新興国等の景気減速懸念、北朝鮮問題など不安定な世界情勢が続く中、依然として先行き不透明な状況で推移致しました。

このような情勢の中、当社グループは中国、北米、国内を中心に積極的な受注活動を展開するとともに、生産効率化による損益改善を図ってまいりました。

以上の結果、当社グループの当第2四半期連結累計期間の売上高は、輸送機器関連事業部門が減少したものの、工作機械関連事業部門が増加したことにより11,110百万円（前年同期比7.0%増）となりました。損益につきましては、営業利益は444百万円（前年同期は営業損失170百万円）となり、経常利益は315百万円（前年同期は経常損失304百万円）となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は280百万円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失340百万円）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

工作機械関連事業部門におきましては、本社受注が計画を上回る好調が続いているのを背景に、国内・海外ともに売上を伸ばしたことにより、売上高は6,110百万円（前年同期比18.5%増）となり、セグメント利益（営業利益）は現地法人の在庫処分が順調に進んだこともあり127百万円（前年同期は営業損失268百万円）となりました。

輸送機器関連事業部門におきましては、ベトナム現地法人の生産は着実に増えているものの、国内は減収となったことにより、売上高は4,964百万円（前年同期比4.4%減）、セグメント利益（営業利益）はベトナム現地法人の売上増に加え、国内のコスト圧縮施策の効果により290百万円（前年同期比301.4%増）となりました。

その他の部門におきましては、不動産賃貸事業により、売上高は35百万円（前年同期と同額）となり、セグメント利益（営業利益）は25百万円（前年同期比0.6%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末に比べ215百万円増加し30,182百万円となりました。この主な要因は、現金及び預金が315百万円、商品及び製品が509百万円減少したものの、受取手形及び売掛金が311百万円、仕掛品が739百万円増加したことによるものであります。

負債合計は、前連結会計年度末に比べ34百万円増加し23,704百万円となりました。この主な要因は、短期借入金が960百万円減少したものの、電子記録債務が63百万円、支払手形及び買掛金が54百万円、長期借入金が889百万円減増加したことによるものであります。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ180百万円増加し6,478百万円となりました。この主な要因は、為替換算調整勘定が160百万円減少したものの、退職給付に係る調整累計額が60百万円増加及び親会社株主に帰属する四半期純利益280百万円を計上したことによるものであります。この結果、自己資本比率は21.5%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想については、平成29年10月31日の「業績予想の修正に関するお知らせ」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,735	2,419
受取手形及び売掛金	3,962	4,273
電子記録債権	1,510	1,658
商品及び製品	2,862	2,352
仕掛品	2,870	3,609
原材料及び貯蔵品	1,182	1,294
その他	327	345
貸倒引当金	△88	△91
流動資産合計	15,362	15,862
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,829	2,787
機械装置及び運搬具(純額)	3,598	3,371
土地	7,387	7,387
その他(純額)	343	352
有形固定資産合計	14,159	13,899
無形固定資産		
のれん	10	8
その他	145	115
無形固定資産合計	155	123
投資その他の資産		
その他	292	300
貸倒引当金	△2	△2
投資その他の資産合計	289	297
固定資産合計	14,604	14,320
資産合計	29,967	30,182
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,399	2,453
電子記録債務	1,271	1,334
短期借入金	9,995	9,035
未払法人税等	43	64
賞与引当金	218	221
資産除去債務	70	69
その他	1,529	1,547
流動負債合計	15,527	14,725
固定負債		
長期借入金	2,478	3,367
退職給付に係る負債	3,814	3,790
役員退職慰労引当金	15	15
資産除去債務	156	155
その他	1,677	1,648
固定負債合計	8,141	8,978
負債合計	23,669	23,704

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,640	4,640
資本剰余金	1,230	1,230
利益剰余金	△2,379	△2,098
自己株式	△66	△67
株主資本合計	3,424	3,705
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2	2
土地再評価差額金	3,666	3,666
為替換算調整勘定	375	214
退職給付に係る調整累計額	△1,171	△1,110
その他の包括利益累計額合計	2,872	2,772
純資産合計	6,297	6,478
負債純資産合計	29,967	30,182

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
売上高	10,386	11,110
売上原価	9,211	9,406
売上総利益	1,174	1,703
販売費及び一般管理費	1,345	1,259
営業利益又は営業損失(△)	△170	444
営業外収益		
受取利息	8	5
受取配当金	0	0
受取賃貸料	5	3
その他	21	19
営業外収益合計	36	28
営業外費用		
支払利息	128	108
為替差損	27	38
その他	13	9
営業外費用合計	169	157
経常利益又は経常損失(△)	△304	315
特別利益		
固定資産売却益	3	1
特別利益合計	3	1
特別損失		
固定資産廃棄損	9	0
特別損失合計	9	0
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△310	316
法人税、住民税及び事業税	18	37
法人税等調整額	10	△1
法人税等合計	29	35
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△340	280
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△340	280

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△340	280
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	0	0
為替換算調整勘定	△504	△160
退職給付に係る調整額	83	60
その他の包括利益合計	△420	△99
四半期包括利益	△760	181
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△760	181
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△310	316
減価償却費	542	501
のれん償却額	1	1
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	22	36
賞与引当金の増減額(△は減少)	1	3
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△8	0
受取利息及び受取配当金	△8	△6
支払利息	128	108
為替差損益(△は益)	304	△31
有形固定資産売却損益(△は益)	△3	△1
有形固定資産廃棄損	9	0
売上債権の増減額(△は増加)	1,212	△454
たな卸資産の増減額(△は増加)	△384	△363
仕入債務の増減額(△は減少)	△836	136
未払消費税等の増減額(△は減少)	103	△176
前受金の増減額(△は減少)	55	62
その他	△434	72
小計	395	207
利息及び配当金の受取額	8	6
利息の支払額	△129	△105
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△31	△35
営業活動によるキャッシュ・フロー	241	72
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△270	△244
有形固定資産の売却による収入	8	15
無形固定資産の取得による支出	△3	△8
資産除去債務の履行による支出	—	△1
定期預金の預入による支出	—	△66
定期預金の払戻による収入	140	—
出資金の払込による支出	—	△23
投資活動によるキャッシュ・フロー	△125	△329
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	350	200
短期借入金の返済による支出	△3,150	△1,117
長期借入れによる収入	2,000	2,000
長期借入金の返済による支出	△1,314	△1,154
自己株式の取得による支出	△0	△0
その他	△42	△40
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,157	△112
現金及び現金同等物に係る換算差額	△151	△8
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△2,192	△377
現金及び現金同等物の期首残高	3,017	2,602
現金及び現金同等物の四半期末残高	825	2,225

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

当第2四半期連結累計期間(自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

前第2四半期連結累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)

1. 配当金支払額

該当事項はありません。

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の末日
後となるもの

該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)

1. 配当金支払額

該当事項はありません。

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の末日
後となるもの

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前第2四半期連結累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	工作機械 関連事業	輸送機器 関連事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	5,158	5,192	10,351	35	10,386	—	10,386
セグメント間の内部売上高 又は振替高	14	—	14	—	14	△14	—
計	5,173	5,192	10,365	35	10,400	△14	10,386
セグメント利益又は損失(△)	△268	72	△196	25	△170	—	△170

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸事業であります。

2 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第2四半期連結累計期間(自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	工作機械 関連事業	輸送機器 関連事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	6,110	4,964	11,075	35	11,110	—	11,110
セグメント間の内部売上高 又は振替高	23	0	23	—	23	△23	—
計	6,134	4,964	11,098	35	11,134	△23	11,110
セグメント利益	127	290	418	25	444	—	444

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸事業であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。